

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	LINO(児童発達支援)				公表日	令和7年1月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・活動内容によって、利用するスペースを変えており、利用人数に合わせた、スペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・基準人数に加え、加配職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・玄関にスロープがある。室内段差はない。 ・一日のスケジュールを掲示することで、見通しを持って過ごすことができるように配慮している。また、個々の特性に応じて環境を整えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・清潔で心地よく過ごせる環境を提供するために、消毒、清掃は徹底して行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・必要に応じて、多目的室や空いているスペースを利用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・朝のミーティングや職員会議等を活用して、目標設定と振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・前回の評価表(ご意見を踏まえた対応)を基に業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・ミーティングや職員会議等で意見等を把握する機会を設け、業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	・第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・ABA研修を職員会議にて実施している。 ・専門委員会を中心に研修を実施している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・支援プログラムを作成し、HPIにて公表している。 ※HP: lino2020.jp	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・黒澤礼子氏監修のアセスメントツール総合版を活用し、個別支援計画書に反映させている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援管理責任者だけでなく、チーム全体で作成に当たっているため、共通理解が図れている。また、子どもの最善の利益を考慮した検討を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・個別支援の内容については、職員間で共有しており、計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・黒澤礼子氏監修のアセスメントツール総合版を活用し、個別支援計画書に反映させている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を選択し、その上で、具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・計画的に実施している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・偏ったプログラムにならないよう、前月、前々月のプログラムを見合わせながら月間プログラムを立てるよう配慮している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの特性に応じた個別支援計画書を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に必ず打ち合わせを行い、スムーズに活動を行い、丁寧な支援を心掛けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・活動内容、個別の気づきに対しての振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援ソフトを活用し、日々の活動の様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・評価時期を定め、計画的に実施し、支援の必要性や見直し等を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児発管や担当職員が会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・医療的ケアが必要な子どもに対しては、連絡体制を整えており、医師の指示書を基に支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて保育所や認定こども園、幼稚園等へ訪問等を行い、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行支援シート（夢すこやかファイル）を作成し、情報提供を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・開催された研修に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・開催された研修に参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・併行通園をされている利用児が多く、交流等の活動を設けていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・定期的に保護者へ連絡を行い、子どもの状況や課題について共通理解を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・園長と語ろう会を実施し、保護者の子育てに関する相談・悩み等に対し、子育てのアドバイスや助言を行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に重要事項説明書の説明・保護者より同意（捺印・署名）を頂い、交付を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメントや聞き取りを通して、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認し、作成に当たっている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・評価や計画書の説明、同意、交付を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談がないか確認を行い、必要に応じて面談や必要な助言と支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・「園長と語ろう会」を開催し、育児に対する悩み、困り感等、保護者同士話し合いができる機会を提供し、助言やアドバイスを行うことができた。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者より相談があった際、迅速に対応を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月LINO通信や活動の様子（ブログ）をHPに掲載している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・写真掲載同意書を基に個人情報の取扱いに十分配慮している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・個々に応じて、伝達手段を工夫して対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域交流活動（ハロウィン・クリスマス）を実施している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		安全管理に伴う各マニュアルを策定し、職員へ周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。また、家族へ訓練の様子を報告している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生に備え、定期的に必要な訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・各種依頼書を作成し、提出していただいている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギーについて、聞き取りを行っている。また、アレルギーのあるお子さんについては医師の指示書の提出をお願いしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画（各マニュアル）を作成し、必要な研修や訓練（エビベンやAED等）を実施している。また、安全に子どもたちが過ごすことができるように、毎月、チェック表（破損等）や物品管理を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している。 ・年に一回、引き渡し訓練を実施している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット報告書を作成し、全職員が共有し、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修等を通して、虐待防止に繋がる支援の方法等を職員間で共有することができている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束同意書の説明を行い、同意（捺印・署名）を頂いている。		